

大学史研究通信

第94号 2018年9月30日(日)

大学史研究会

第94号の内容：会員ニュース・新入会員自己紹介・第41回大学史研究セミナーのお知らせ・会場校へのアクセス・自由研究発表者募集・セミナーでの宿泊についてのお知らせ・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・事務局からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

会員ニュース

新入会員＜申込順＞

間篠 剛留 会員 (所属：日本大学文理学部)

佐々木 隼相 会員 (所属：東北大学大学院・学生)

金城 正英 会員 (所属：名桜大学)

中原 理沙 会員 (所属：筑波大学大学院・学生)

異動

吉葉 恭行 会員 (新所属：岡山大学)

新入会員自己紹介

間篠 剛留 会員

「コミュニティ」をキーワードに、20世紀アメリカについて学んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

佐々木 隼相 会員

東北大学大学院文学研究科博士課程後期に所属している佐々木隼相と申します。この度、大学史研究会に入会いたしました。最近の関心は、明治時代以降の大学による社会へのアウトリーチの歴史と、大学の外に蓄積された学問的な取り組みとの関係にあります。大学史研究会を通じて、これらの関心のほかにも色々と勉強していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

金城 正英 会員

新しく入会させていただきました公立大学法人名桜大学職員の金城正英（きんじょうまさひで）と申します。私の研究テーマは、桜美林大学大学院国際文化研究科修士課程から取り組んでいる「戦後沖縄における私立高等教育機関設置」です。1945年から1972年にかけて米国の統治下に置かれた沖縄に焦点をあて、文部省によらない琉球政府による私立高等教育機関設置について研究しています。特に、日本の高等教育史から抜け落ちた戦後沖縄における大学設置認可行政や教育法令の変遷に関心があります。

この度の大学史研究会入会を機に皆様のご指導を仰ぎながら、これまでの研究テーマをさらに深化させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

中原 理沙 会員

この度入会させていただきました、中原理沙と申します。現在、筑波大学人間総合科学研究科教育学専攻の博士前期課程に所属しております。日本における高等教育の歴史に関心があるものの、学部の頃は全く異なる分野（工学系）にいましたので、少しずつ勉強しながら研究テーマを探って

いる状態です。特に興味を持っているのは旧制高等学校の教養となります。今後、自分のバックグラウンドも活かしつつ、研究に取り組んでいけたらと考えております。五里霧中の状態での入会となつてしまい恐縮ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

<異動に伴う会員情報更新の届出をお願いいたします>

所属や住所等に変更のある会員は、事務局までご一報ください。ホームページ掲載の「事務局連絡先」フォーム、あるいは年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

また、今後は会員の皆様への連絡を、「通信」と併せてメールで配信していくことも検討しております。事務局へのご登録が旧アドレスのままの方や、メールアドレスの登録をされていない方はご連絡いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

（会員情報担当：浅沼薫奈）

第 41 回大学史研究セミナー開催のお知らせ

第 41 回大学史研究セミナーを、國學院大學にて開催いたします。今回のシンポジウムでは、「大学史・高等教育史研究のこれまでとこれから」と題して、大学史・高等教育史研究のこれまでの知見を再確認しつつ、今後の展望について、歴史・比較・他領域との関係性といった観点から批判的に検討する機会にしたいと考えています。詳細については、下記をご覧ください。また大会 2 日目の日曜日は、例年同様、自由研究発表となります。さらに自由研究発表終了後には、日本学術振興会外国人招へい研究者として来日されているロジャー・ガイガー先生（Roger L. Geiger 米国ペンシルベニア州立大学）をお招きし、戦後米国高等教育の動態について、1950～1975 年あたりを中心にお話をさせていただきます。ガイガー先生は、日本の大学史・高等教育史研究者との交流を楽しみにしております。こちらについても奮ってご参加いただければ幸いです。プログラムの詳細につきましては、改めて研究会 HP でお知らせいたします。

日時：2018 年 11 月 17 日（土）、18 日（日）

会場：國學院大學渋谷キャンパス（渋谷 130 周年記念 5 号館 3 階 5301 教室）

内容：17 日（土）シンポジウム、総会、懇親会

18 日（日）自由研究発表、その後、ロジャー・ガイガー先生によるご講演

シンポジウム「大学史・高等教育史研究のこれまでとこれから」

趣旨説明：戸村理（國學院大學）

パネリスト：羽田貴史（広島大学・東北大学名誉教授）

安原義仁（広島大学名誉教授）

岡本拓司（東京大学）

司 会：深野政之（大阪府立大学）

趣旨

我が国で大学史研究が本格的に取り組まれるようになって 50 年余りの歳月がたった。かつては「飯が食えぬ学問」とされてきた大学（史）研究及び高等教育（史）研究であるが、各種学会を立ち上げるまでに成長し、いまや学術研究上、「高等教育」は一つの領域を形成するまでに拡大した。その発展に大学史研究会が果たしてきた功績は小さくないと思われる。

では、我が国の大学史・高等教育史研究は、これまで何を明らかにしてきたのか。また研究テーマ・研究方法は、どのような変遷を辿ってきたのか。初回のセミナーから半世紀が過ぎ、大学史研究や学校沿革史の研究成果は量的拡大を遂げたわけだが、その一方で、近年の大学史・高等教育史研究においては、大学及び高等教育を包括的に捉える歴史的視座（フレームワーク・パラダイム等）が欠如しているとの批判も少なくない。近代における国民国家の誕生とそれに伴う中世大学の近代大学への変容過程に関する議論は、ヨーロッパ大学史研究が示すフレームワークの一つだが、日本

においてその議論は乏しく、当然ながらこうしたフレームワークから導かれる課題も、共有どころか認識されずにいる。

また日本の大学史・高等教育史研究は、ある時期まで、諸外国のそうした知見に加えて、教育社会学はもちろん、科学史をはじめとする関連領域とのダイナミックな交流により発展してきた。しかしながら、一部の研究者に依存してきたこともあり、現在ではこれらの点について、必ずしも明るい見通しを立てられる状況にない。研究成果は増えていくものの、大学史・高等教育史研究が本来有すはずの魅力が欠け、結果として学術的にも社会的にも、かつてほど読者を魅了することが少なくなってしまうようにも思われる。

そこで今回のセミナーでは、大学史・高等教育史研究をめぐるこのような現状を踏まえ、「大学史・高等教育史研究のこれまでとこれから」と銘打って、以上の点を広く展望する契機を提供するシンポジウムにしたいと考える。

ロジャー・ガイガー先生によるご講演

テーマ：アメリカ高等教育の大拡大期に関する歴史的検討：1950～1975年

The Great Expansion of American Higher Education, 1950-1975: Who, When, Where, and Why.

備考：自由研究発表終了後に実施します。60分程度のご講演をしていただいた後、参加者との質疑応答を行う予定です。奮ってご参加ください。なお自由研究発表者数によっては、午後の時間帯にずれ込む可能性があります。遠方からお越しになられる参加者は、この点、お含みおきくださいようお願いいたします。

また、セミナーへのご参加は、大学史研究会のホームページにメールフォームを設けております (<http://daigakushi.jp/seminar2018/>) ので、こちらでお申し込み下さい。

(セミナー担当：長谷部圭彦・船勢肇)

会場校へのアクセス

ご参考までに渋谷駅からのアクセスは、以下の通りとなっております。

渋谷駅 (JR 山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線) から徒歩約 13 分

渋谷駅 (JR 埼京線) 新南口から徒歩約 10 分

都営バス (渋谷駅東口バスターミナル 54 番のりば 学 03 日赤医療センター行) 「国学院大学前」下車 (運賃 180 円・IC175 円) *渋谷駅から 3 番目の停留所、所要時間約 10 分

*その他のアクセス方法については、下記 URL でご確認ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/access>

なお、会場 (130 周年記念 5 号館) については、以下をご覧ください。

https://www.kokugakuin.ac.jp/general/financialinformation/campus_shibuya

(会場校：戸村理)

自由研究発表者募集

第41回大学史研究セミナーでの自由研究発表 (11月18日開催) を募集致します。発表時間は、発表件数にもよりますが、質疑応答を含めて45～60分程度を予定しています。通常の学会よりも、じっくりと報告・議論できることが本会の自由研究発表の特徴です。発表を希望される方は、10月17日 (水) までに、セミナー担当の船勢まで、発表タイトルを添えてご連絡下さい。お申し込みの形式は問いません。奮ってお申し込み下さい。

[自由研究発表申込・セミナー問い合わせ先]

事務局セミナー担当 船勢 E-Mail: funasehajime@gmail.com

セミナーでの宿泊についてのお知らせ

第41回大学史研究セミナーの開催に際して、会場校では、特段、宿泊先を確保しておりません。お手数をおかけいたしますが、会員の皆様におかれましては、各自で近隣の宿泊施設を確保くださいますようお願い申し上げます。

(会場校：戸村理)

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

『大学史研究』編集委員会では、27号の編集を続けており、年内の刊行をめざしております。次号28号に投稿を希望される方は、お早めに紀要担当までご連絡ください。

(紀要担当：深野政之 fukano@daigakushi.jp)

事務局からのお知らせ

本通信では会員の研究活動の紹介を心がけております。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局(jshshe@daigakushi.jp)までお知らせください。

(事務局代表：深野政之)

編集後記

セミナー直前の通信です。充実したプログラムに、開催が待ち遠しいです。さて夏休みも終わりキャンパスに学生が戻ってきました。短大は夏休み期間中、教育実習等で学生がほとんどいません。そのため一気に学生が戻ってくる感覚です。沢山のことを学んできた学生の気迫に負けないよう、気合いを入れて後半戦のスタートです。

(通信担当：山本尚史)

『大学史研究通信』第94号の編集は、事務局・山本尚史が担当いたしました。

連絡先：yamamoto.hisashi@nagasaki-joshi.ac.jp

『大学史研究通信』第95号は、2019年1月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

<事務局連絡先>

〒591-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学高等教育推進機構 深野政之気付 大学史研究会

Tel. & Fax.: 072-254-9548 E-mail: fukano@daigakushi.jp

ホームページ：http://daigakushi.jp/

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe@daigakushi.jp

大学史研究会事務局員 (五十音順)

浅沼 薫奈 (大東文化大学)

岡田 大士 (中央大学)

長谷部 圭彦 (早稲田大学)

深野 政之 (大阪府立大学)

船勢 肇 (大阪芸術大学)

山崎 慎一 (桜美林大学)

山本 尚史 (長崎女子短期大学)